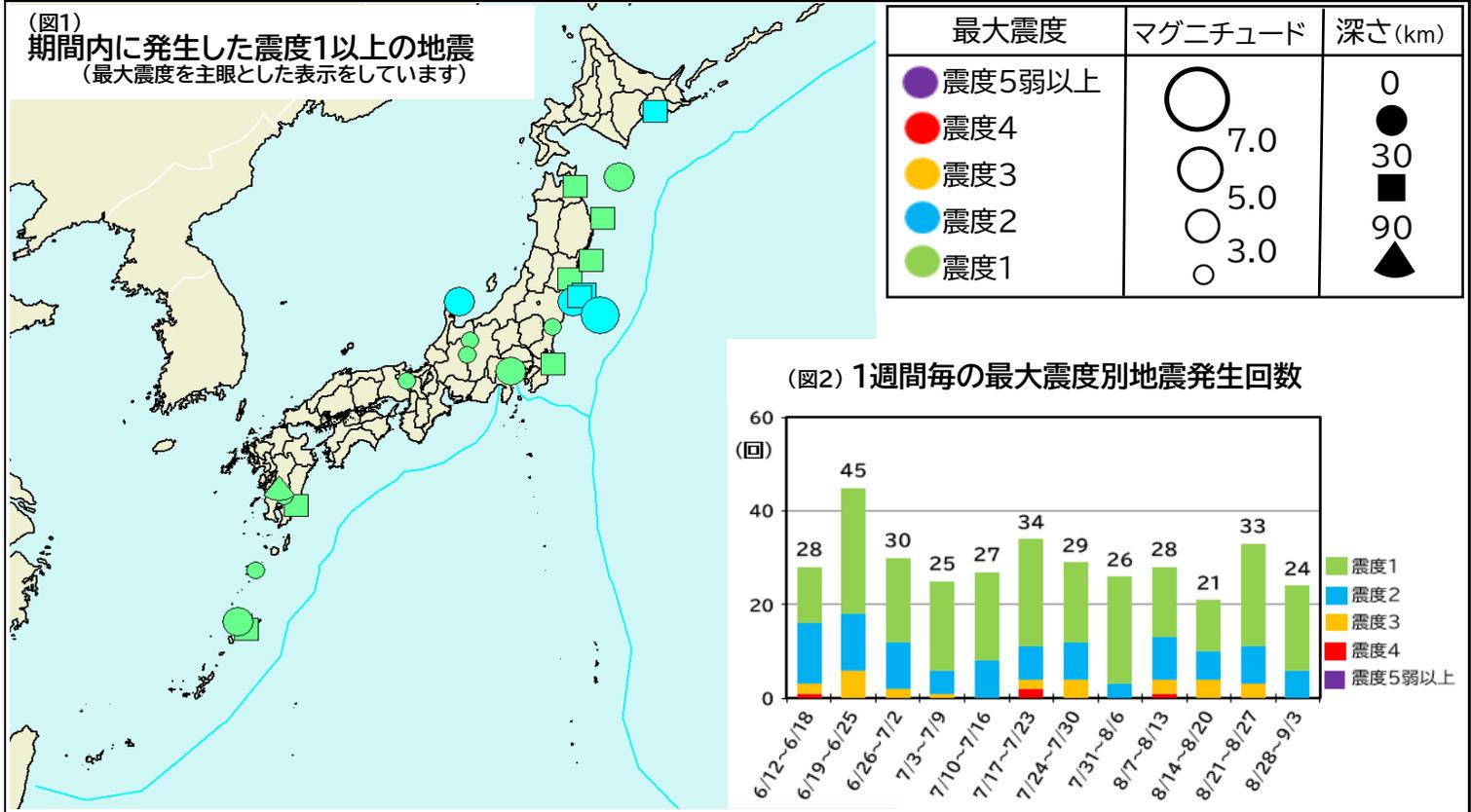


この期間の最大震度は2

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典: 気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が24回発生。最大震度は2。 ■
- ・この期間に発生した地震は震度2以下で、数も少なく穏やかな期間でした。
- ・穏やかな地震活動の中で、福島県沖での発生が少し多かったため近年の活動をトピックスに取り上げました。

トピックス

- 最近の福島県沖の地震活動 ■
- ・福島県沖は定常的な地震活動が見られている領域で、東北地方太平洋沖地震の発生前からM5.0以上の地震がしばしば発生している。
- ・東北地方太平洋沖地震の発生後は地震活動が活発化し、その後も地震の発生回数が多い状態が続いている。
- ・最近M7を超えた地震のうち上位3つは以下のとおり(図3,図4)。
- ・①2016年11月22日に発生した地震(M7.4、深さ25km:最大震度5弱)。この地震は陸のプレート(北米プレート)の地殻内で発生した正断層型です。津波も観測され、宮城県の大川で73cm、福島県の小名浜で60cmの津波を観測するなど、北海道から和歌山県にかけての太平洋沿岸及び伊豆・小笠原諸島で津波を観測した。
- ・②2021年2月13日に発生した地震(M7.3、深さ55km:最大震度6強)。この地震は太平洋プレート内部で発生した逆断層型です。津波も観測され、宮城県の大川で7cm、福島県の相馬で20cmの津波を観測した。
- ・③2022年3月16日に発生した地震(M7.4、深さ57km:最大震度6強)。この地震は、2021年2月の地震の少し南側の太平洋プレート内部で発生した逆断層型です。津波も観測され、宮城県の大川で10cm、仙台港で20cm、福島県の相馬で20cmの津波を観測するなど、青森県から茨城県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。

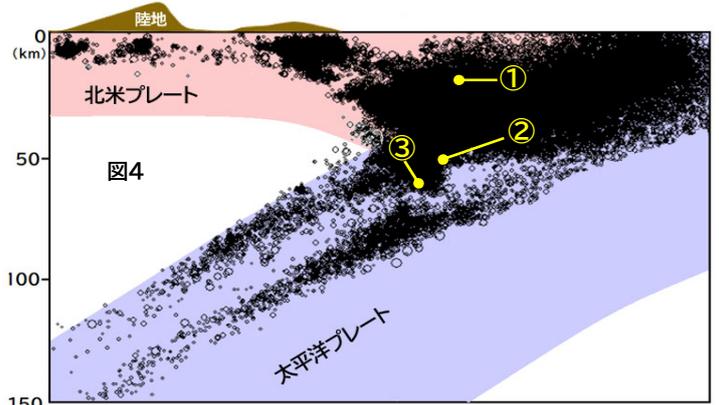
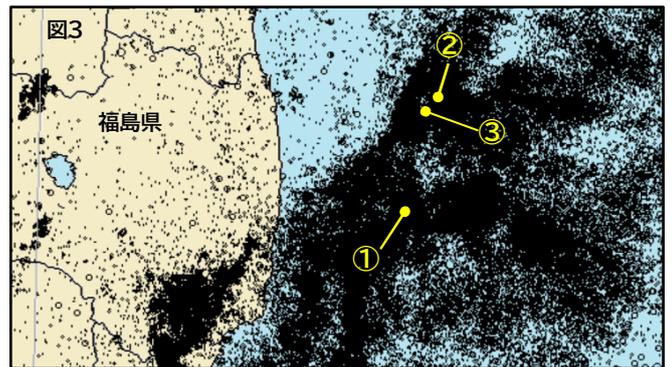


図3: 福島県中を通り地方から福島県沖にかけての震央分布図(1997年10月1日~2023年9月3日 M≧2.0)。 図4: 図3の断面図(北米プレートと太平洋プレートは、おおよその位置)